

JIS

溶接用語－第 1 部：一般

JIS Z 3001-1 : 2018

(JWES)

平成 30 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	相 浦 直	一般社団法人軽金属溶接協会
	栗飯原 周二	東京大学
	一 谷 隆	高圧ガス保安協会
	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (デンカ株式会社)
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会 (三菱自動車工業株式会社)
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	半 田 雅 俊	一般社団法人日本建設業連合会 (戸田建設株式会社)
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	古 主 泰 子	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：平成 30.2.20

官 報 公 示：平成 30.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 分類	1
4 用語及び定義	2
4.1 共通	2
4.2 試験	19
4.3 安全・衛生	23
4.4 アーク溶接	25
4.5 抵抗溶接	25
4.6 その他の溶接	25
4.7 ガス溶接及び熱切断	28
附属書 A (参考) 新旧用語番号の対比表	33
解 説	39

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶接協会（JWES）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS Z 3001-1:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS Z 3001 の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS Z 3001-1** 第 1 部：一般
- JIS Z 3001-2** 第 2 部：溶接方法
- JIS Z 3001-3** 第 3 部：ろう接
- JIS Z 3001-4** 第 4 部：溶接不完全部
- JIS Z 3001-5** 第 5 部：レーザ溶接
- JIS Z 3001-6** 第 6 部：抵抗溶接
- JIS Z 3001-7** 第 7 部：アーク溶接

溶接用語—第 1 部：一般

Welding and allied processes—Vocabulary—Part 1: General

序文

JIS Z 3001 は、1958 年に制定され、その後、2008 年に部編成の JIS Z 3001-1～JIS Z 3001-4 として制定された。

この規格は、2013 年に改正され、規格群再編成に対応するため改正した日本工業規格である。

なお、対応国際規格は、制定されていないが、2016 年に発行された ISO/TR 25901-1 を参考にしている。

1 適用範囲

この規格は、溶接関係で術語として用いる主な用語について、溶接の各分野に共通・基礎となる用語並びに第 2 部以下の各部に規定されていない用語及び定義について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 2300 非破壊試験用語

JIS Z 3001-2 溶接用語—第 2 部：溶接方法

JIS Z 3001-4 溶接用語—第 4 部：溶接不完全部

JIS Z 3001-6 溶接用語—第 6 部：抵抗溶接

JIS Z 3001-7 溶接用語—第 7 部：アーク溶接

3 分類

用語の分類は、次による。

- a) 共通
- b) 試験
- c) 安全・衛生
- d) アーク溶接
- e) 抵抗溶接
- f) その他の溶接
- g) ガス溶接及び熱切断